

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部福祉課		■担当係	社会福祉係
■評価事業名称	震災復興支援業務推進事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	040300 - 343	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	04 共に支えあう地域福祉の推進		
	■施策	01 地域で支えあう福祉サービスの仕組みづくり		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市東日本大震災広域避難者支援指針			
■事業の目的と概要	震災復興支援業務(内陸避難者の支援等)を実施。沿岸地域等から北上市に避難し、みなし仮設住宅への入居が続いている人が抱える各種相談に対応する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	震災復興支援業務推進事業	沿岸被災地・避難者・被災地	<ul style="list-style-type: none"> 雇用促進住宅堤ヶ丘集合会所訪問 99回 相談対応 40件 自治会支援 2回 情報共有会議 11回 避難者アンケート実施 1回 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用促進住宅堤ヶ丘集合会所訪問47回・相談対応13件・情報共有会議4回・避難者アンケート実施1回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	2,464	2,311	229	2,307	
人件費	5,347	2,160	2,465	2,092	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	7,811	4,471	2,694	4,399	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

集会所など避難者の交流の場を設けることで、コミュニティの形成に寄与している。

問題点・課題等

市内の避難者は徐々に減少してきたが、支援のニーズが多様化し、きめ細やかな対応が求められている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

平成30年度から震災避難者支援事業に統合。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了